

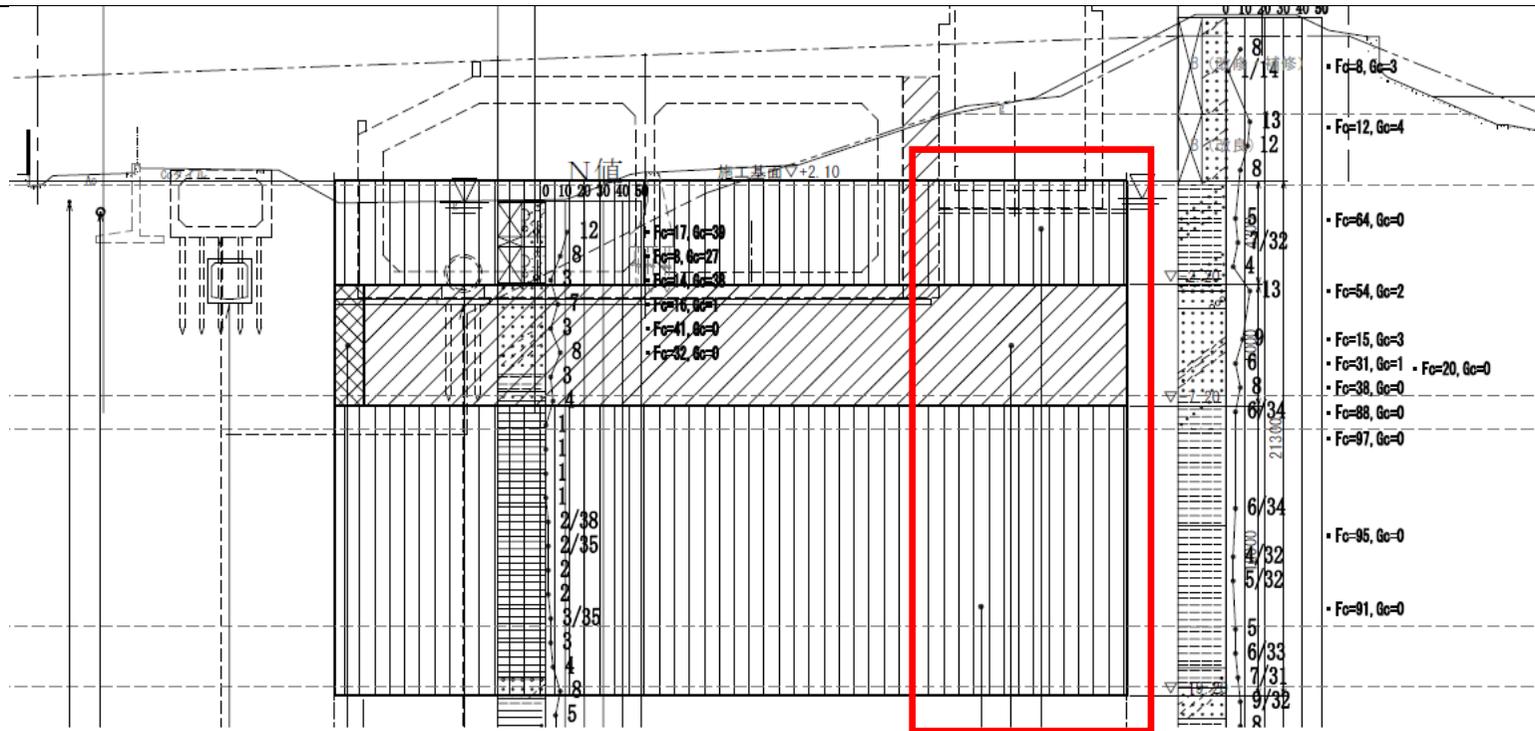
令和元年8月23日 公告

「淀川左岸線（2期）トンネル整備工事-2」

- ・ 工事設計書の一部に記載誤りがありました。下記正誤表をご確認ください。

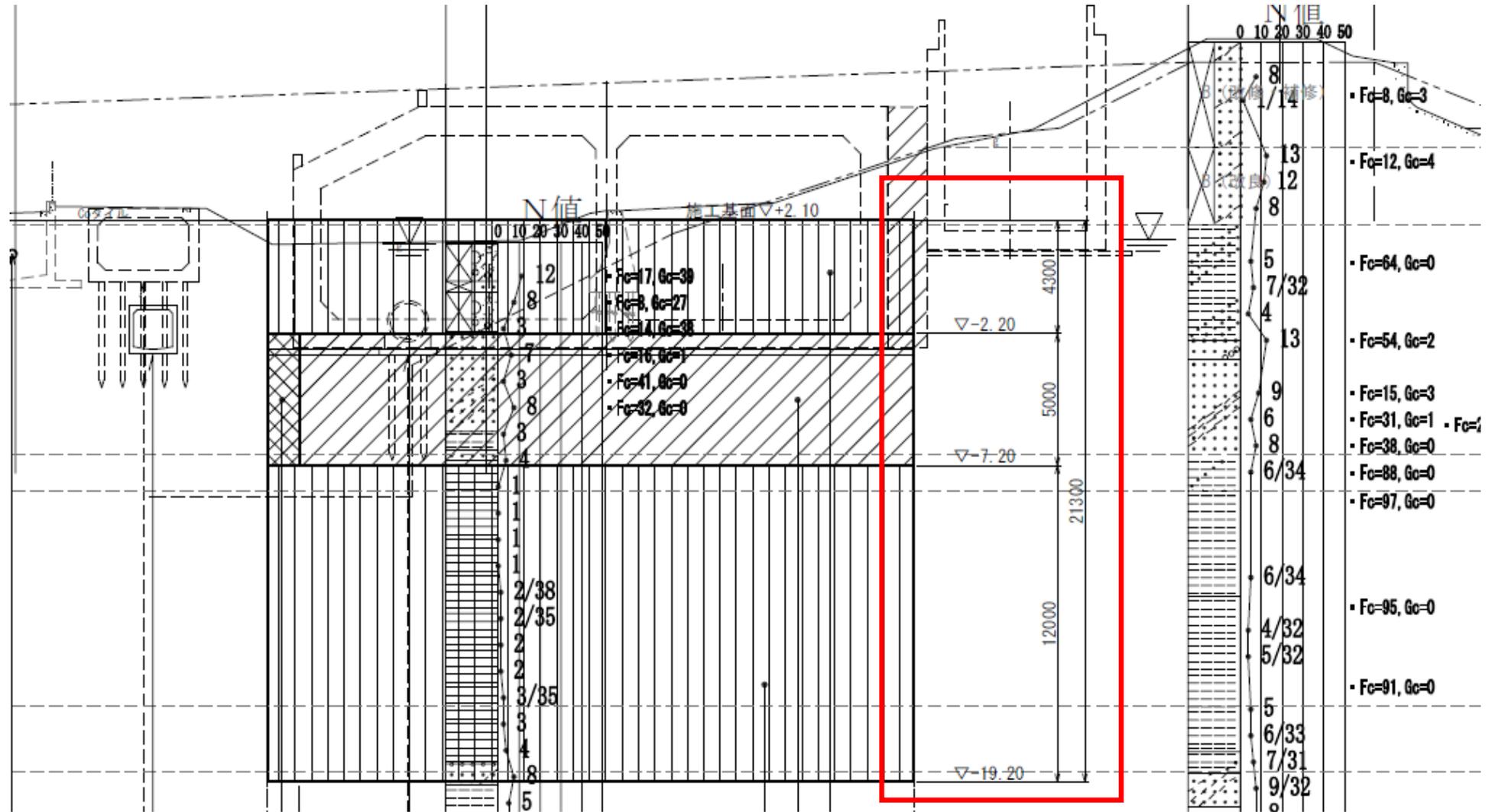
訂正箇所（誤）

図面番号183 <参考図>地盤改良工横断図(25)



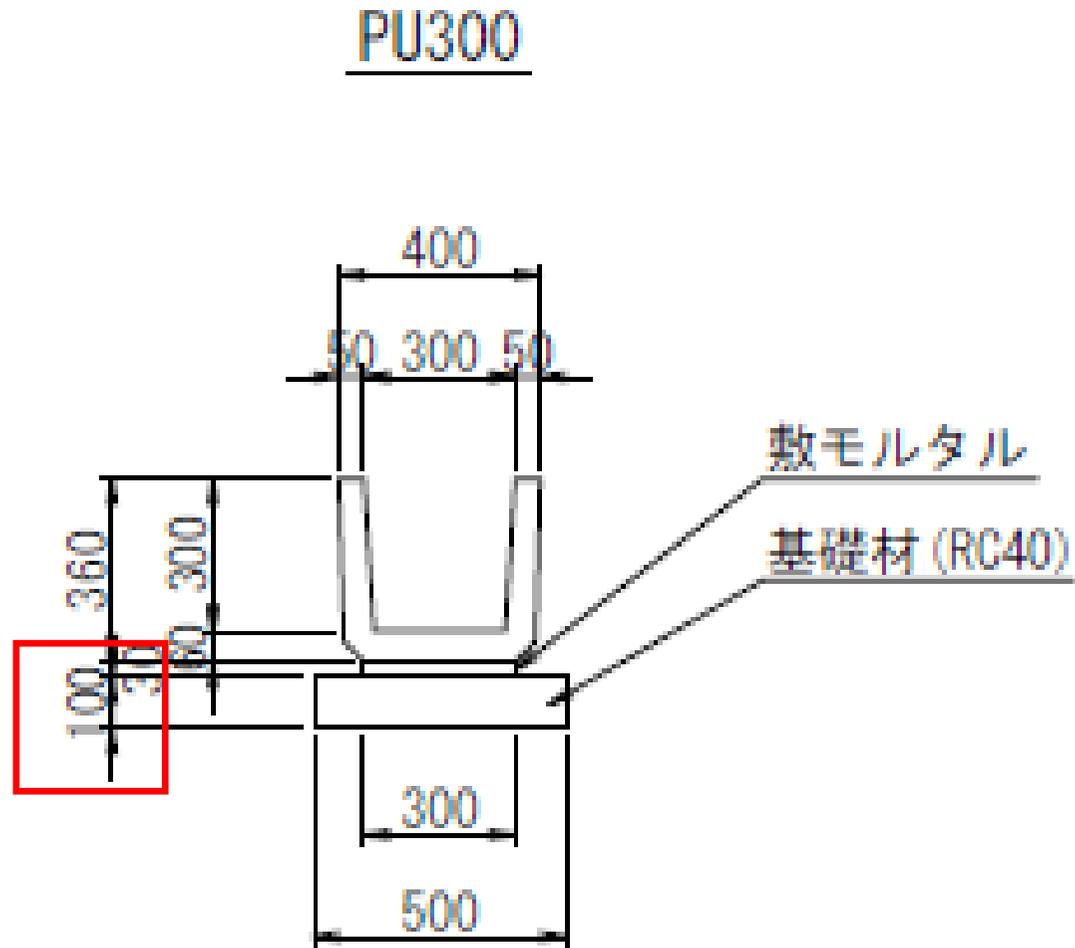
訂正箇所 (正)

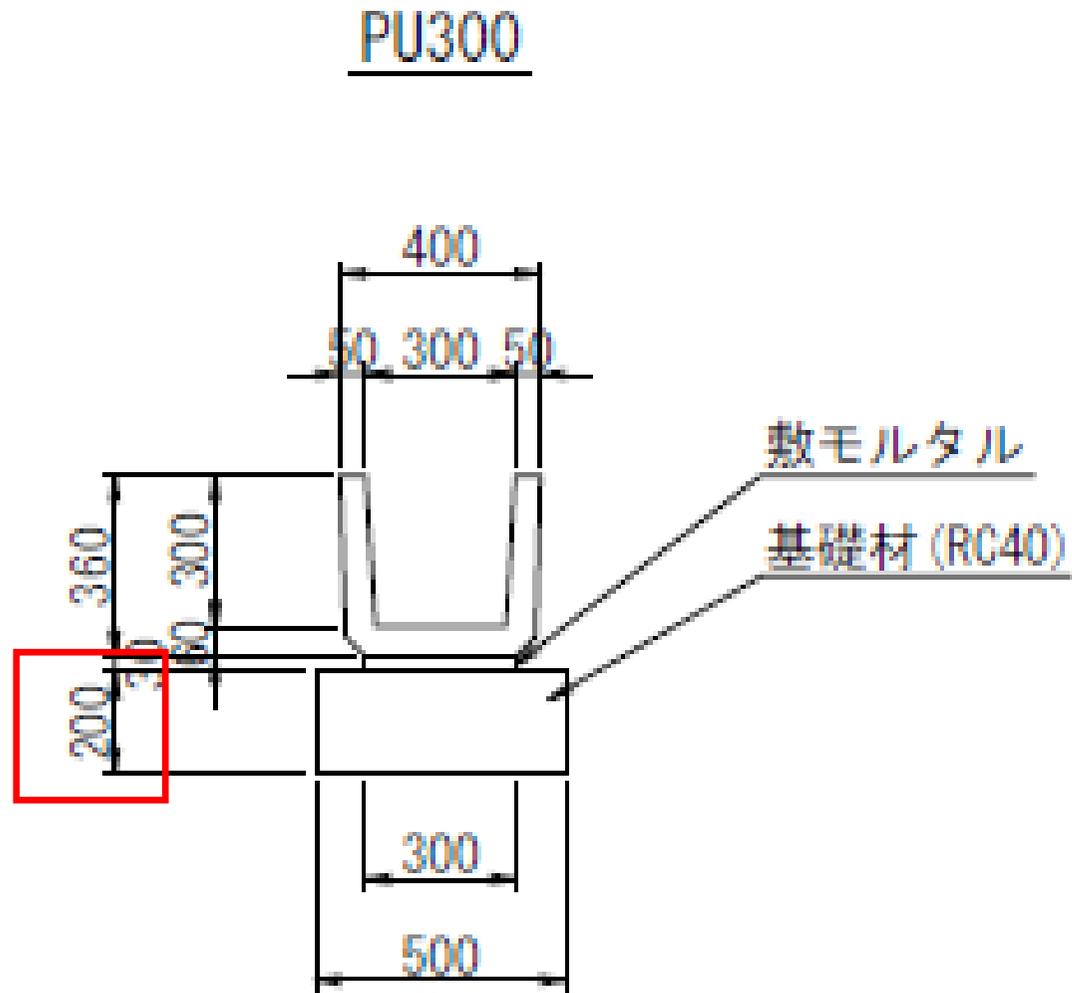
図面番号183 <参考図>地盤改良工横断図(25)



訂正箇所（誤）

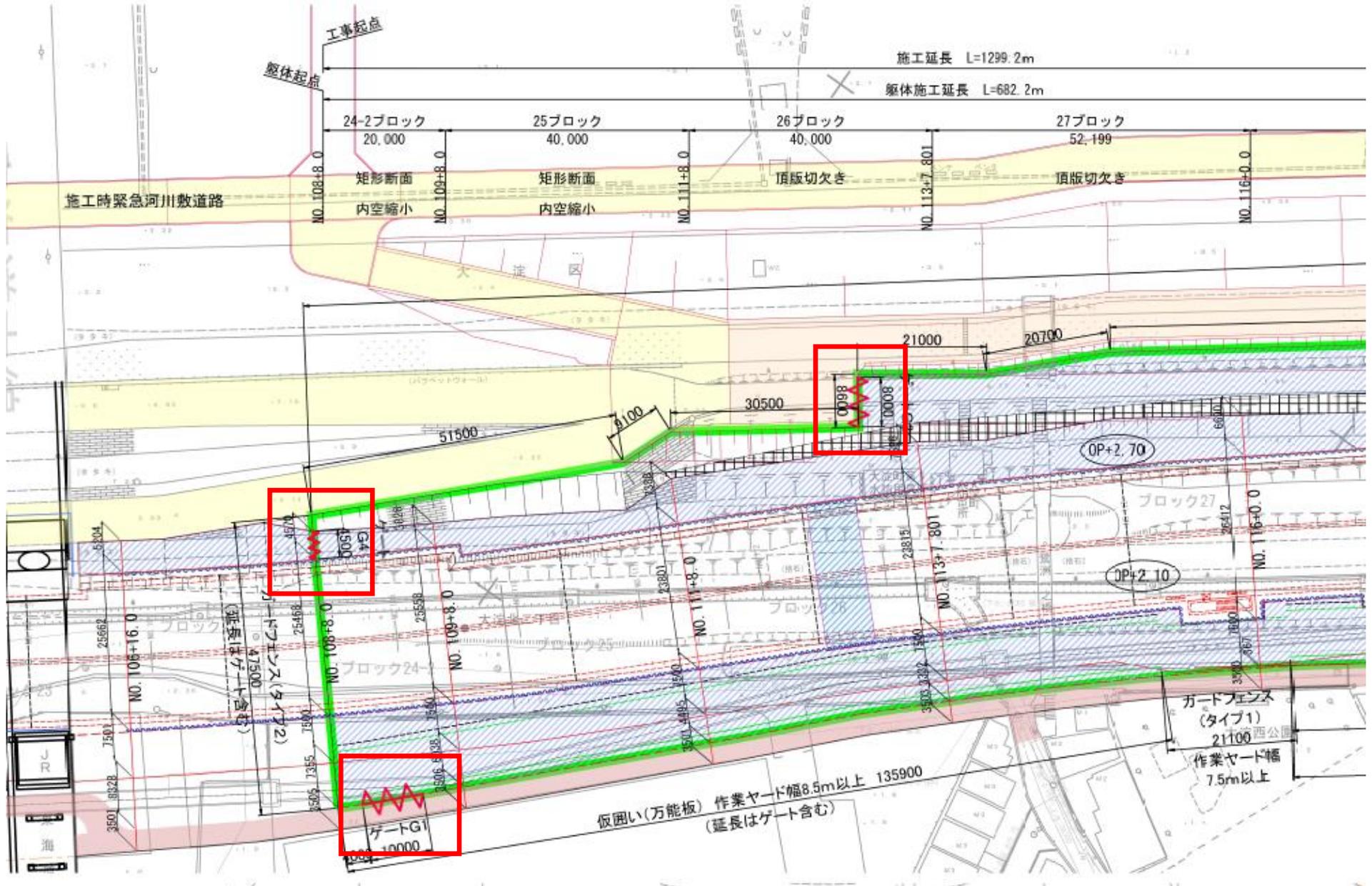
図面番号433 <参考図>仮設排水施設構造図





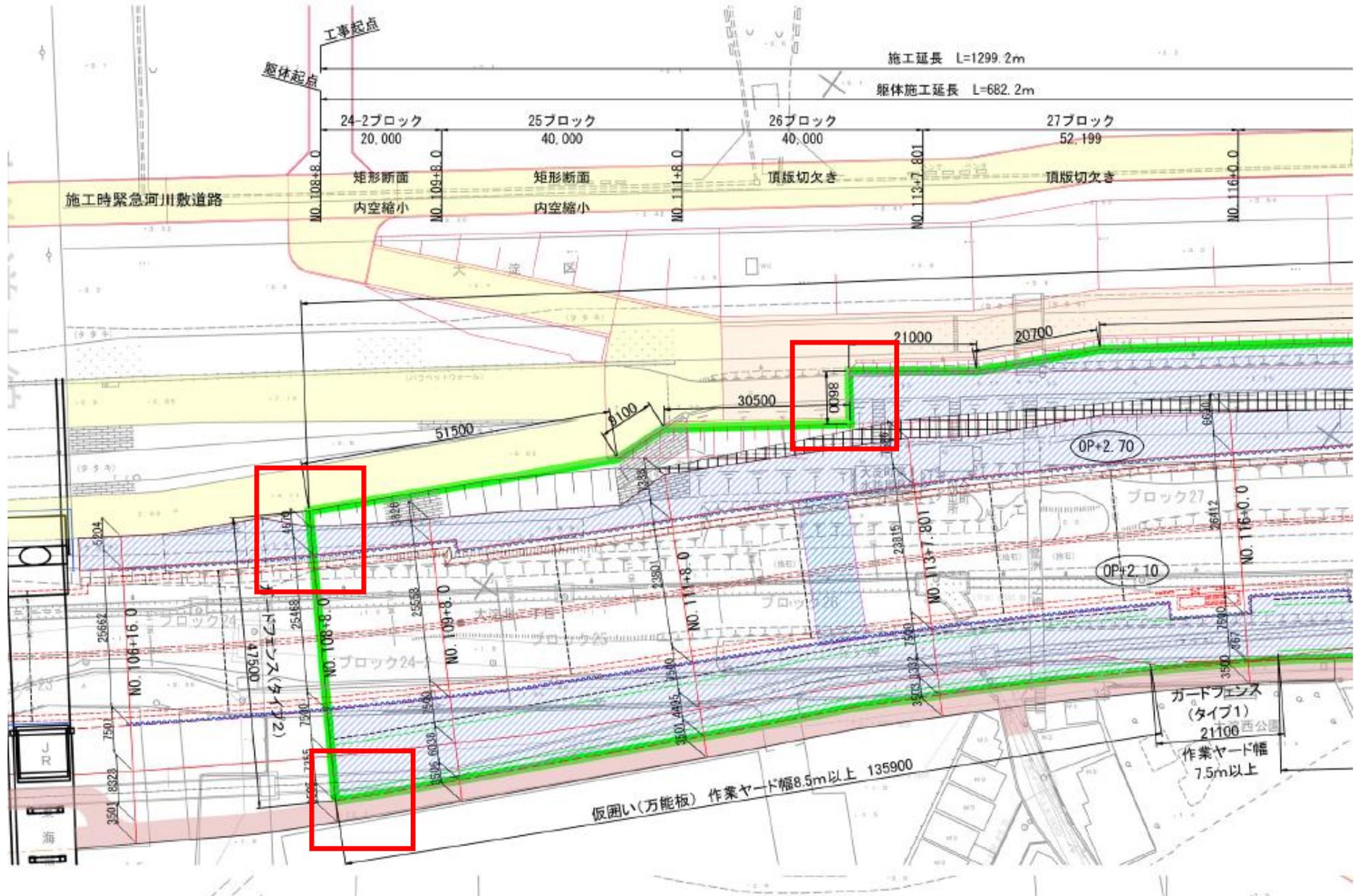
訂正箇所 (誤)

図面番号478 <参考図>仮囲い設置工計画図 (左上)



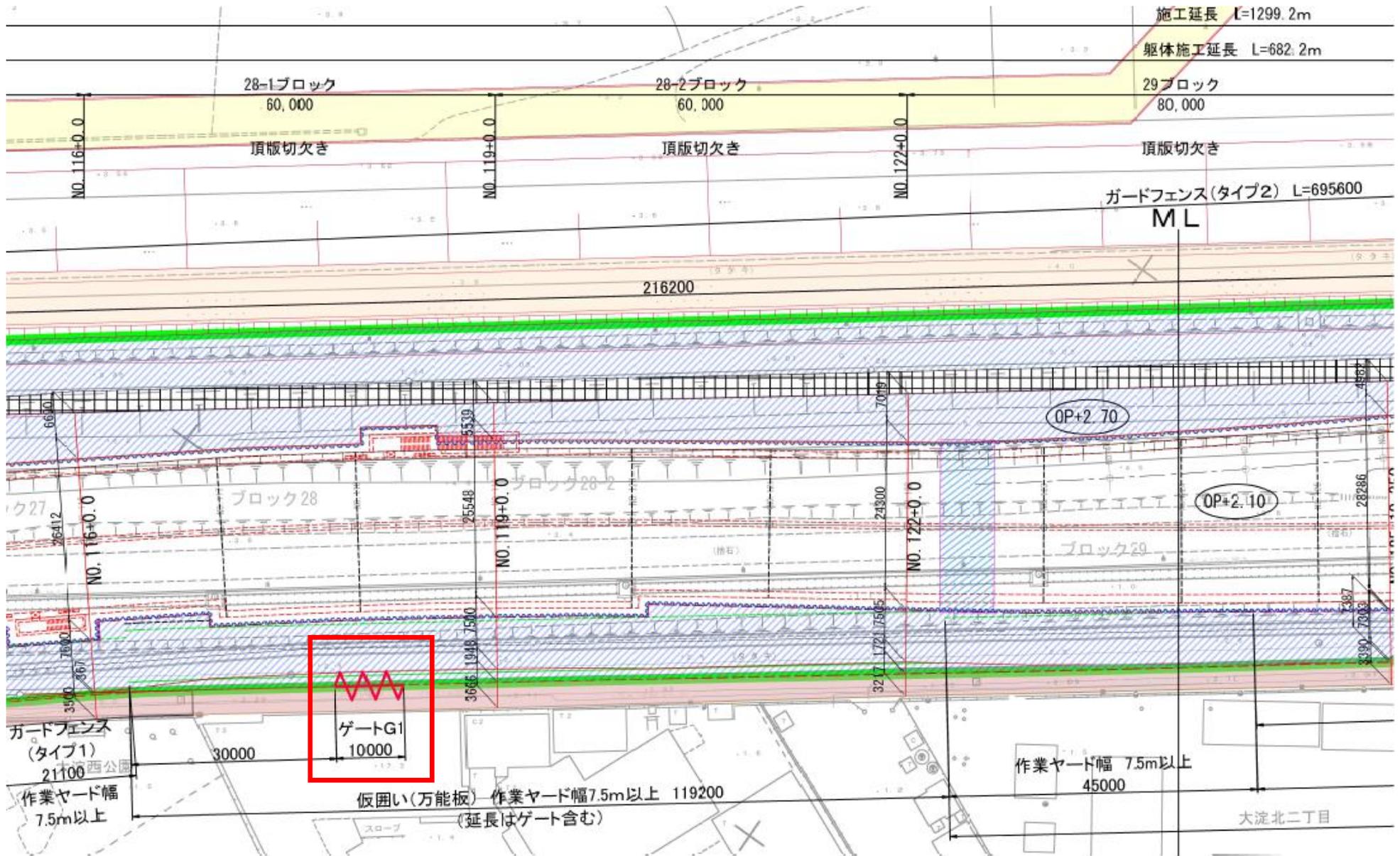
訂正箇所 (正)

図面番号478 <参考図>仮囲い設置工計画図 (左上)



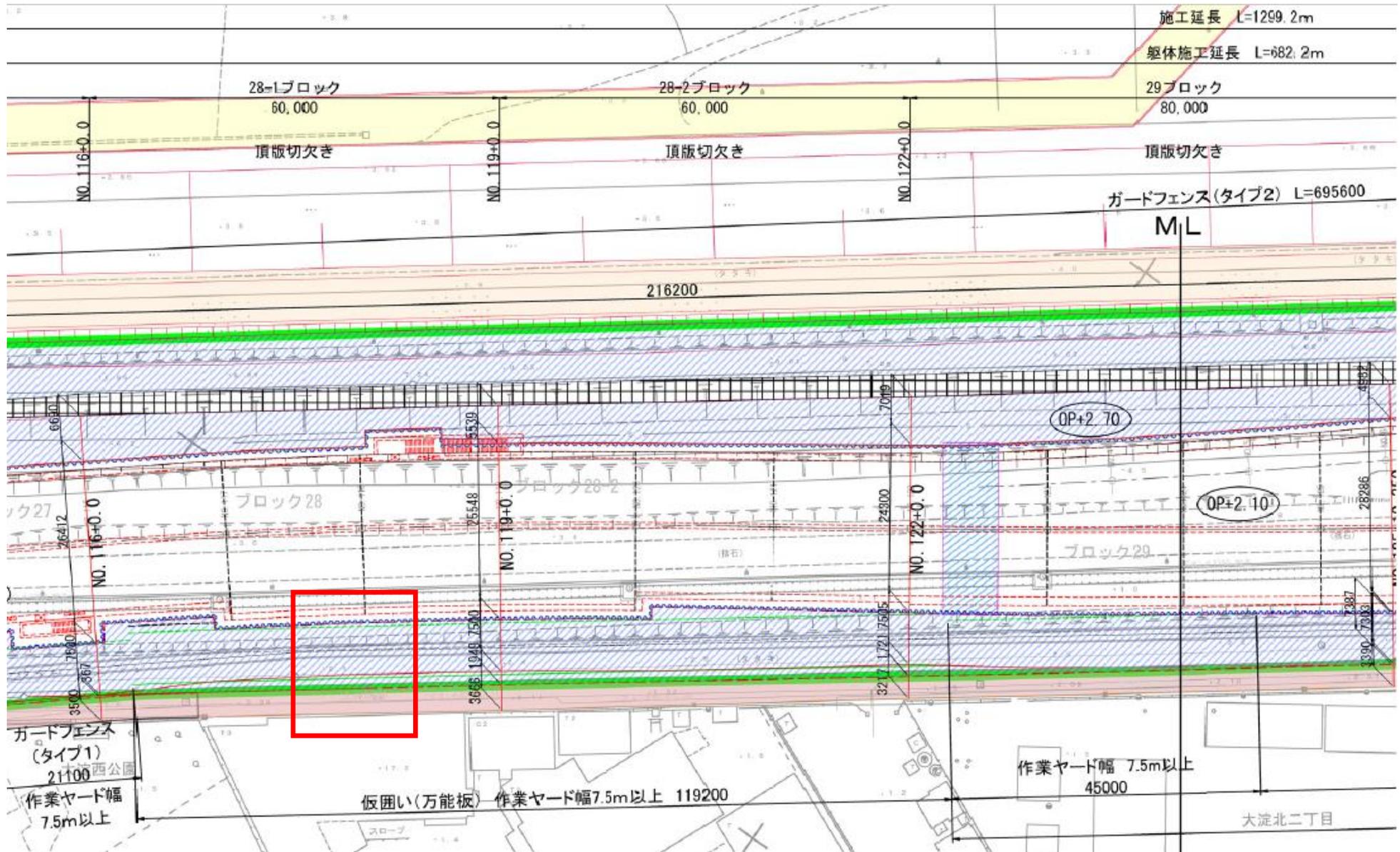
訂正箇所 (誤)

図面番号478 <参考図>仮囲い設置工計画図 (右上)



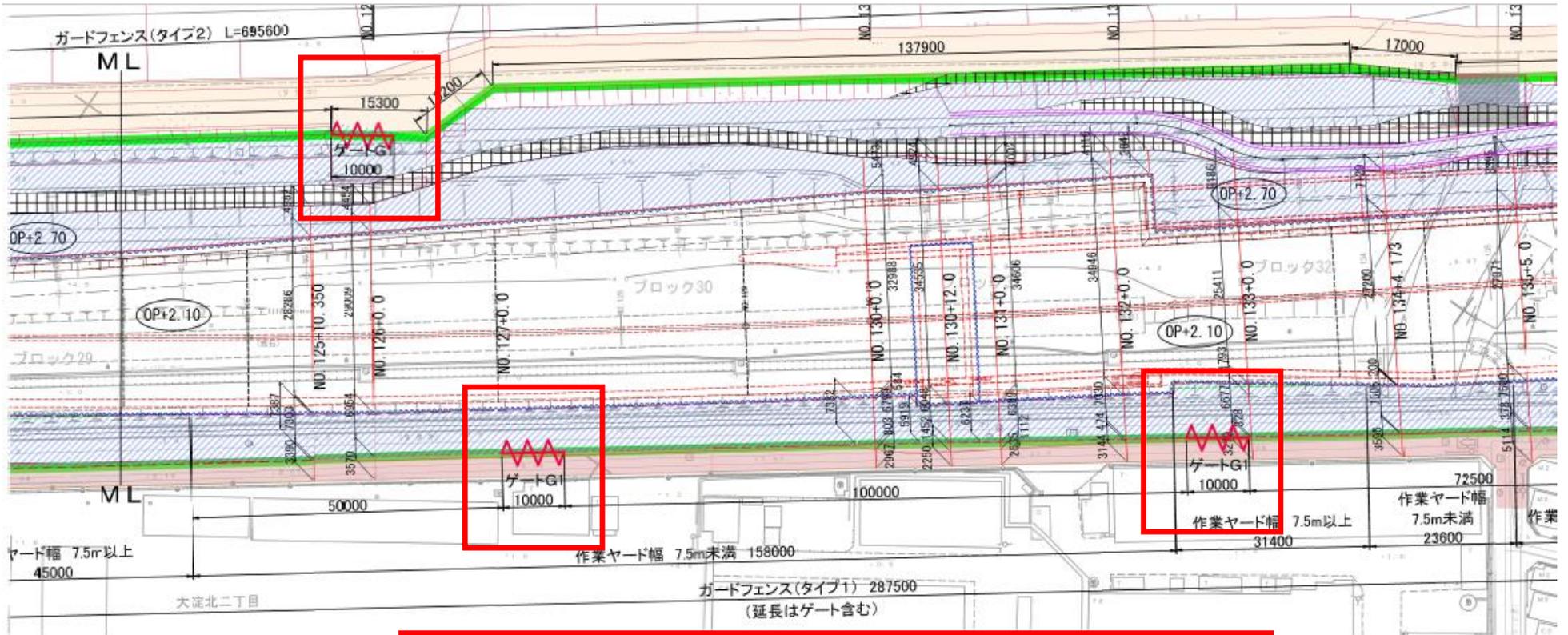
訂正箇所 (正)

図面番号478 <参考図>仮囲い設置工計画図 (右上)



訂正箇所 (誤)

図面番号478 <参考図>仮囲い設置工計画図 (左下)

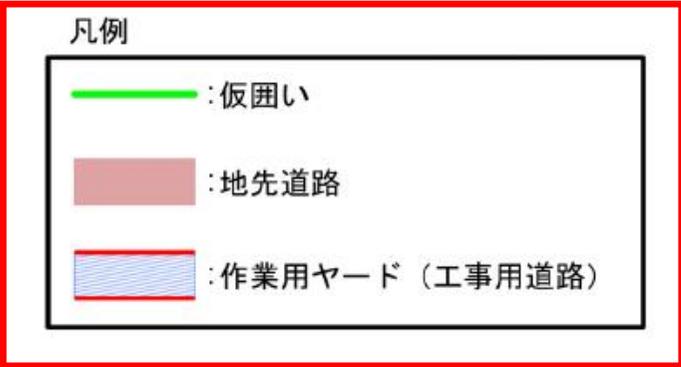
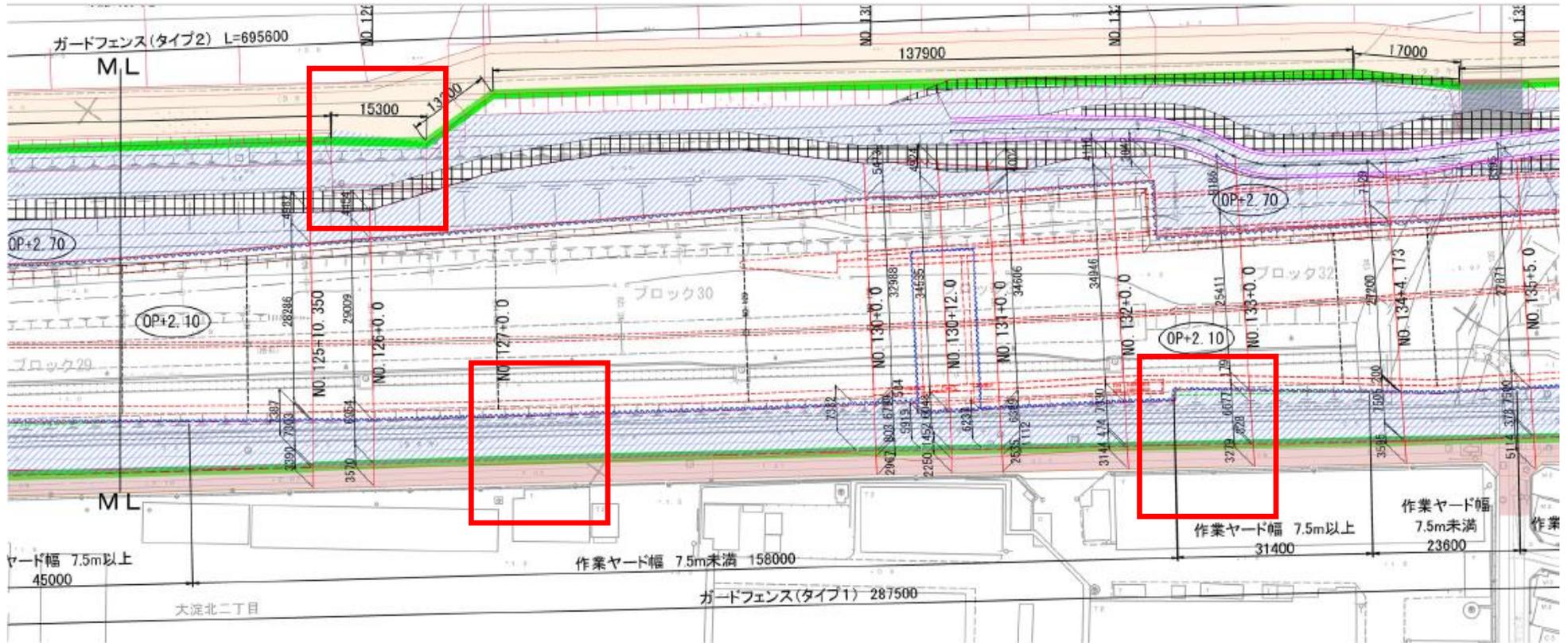


凡例

	: 仮囲い		: 地先道路
	: ゲート		: 作業用ヤード (工事用道路)
			} 国交省管理用通路 (工事用道路)
			

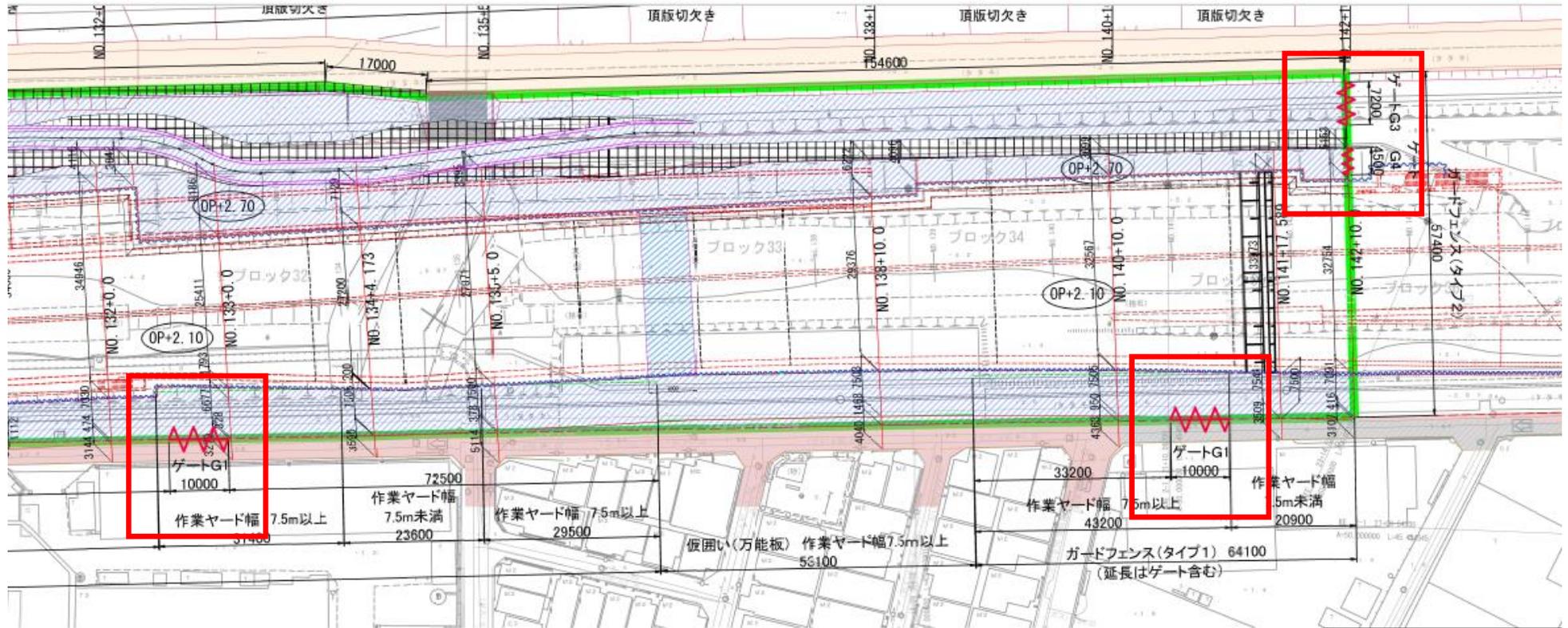
訂正箇所 (正)

図面番号478 <参考図>仮囲い設置工計画図 (左下)



訂正箇所（誤）

図面番号478 <参考図>仮囲い設置工計画図（右下）



工事用道路)

道路（工事用道路）

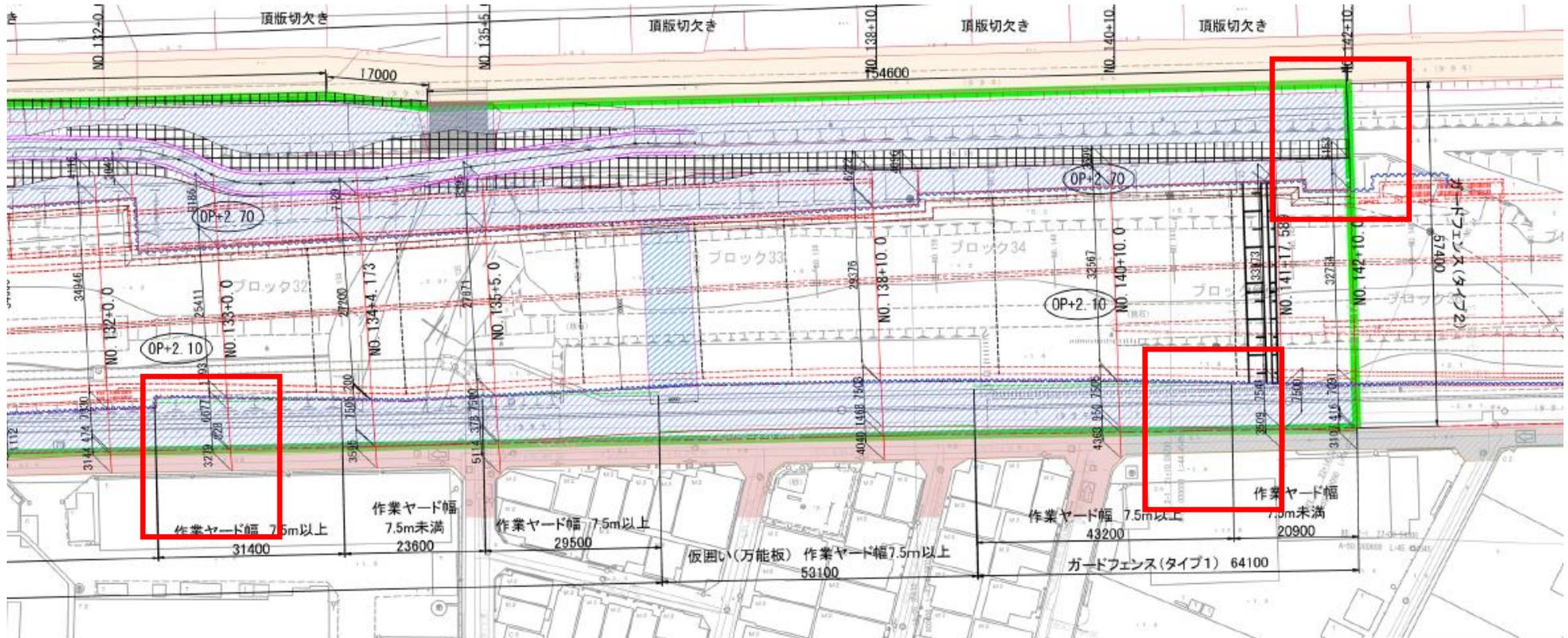
仮囲い・ガードフェンス・ゲート数量表

種別	タイプ	高さ・幅	単位	数量	備考
仮囲い		H=3.0m	m	288.20	
ガードフェンス	タイプ1	H=2.1m	m	342.70	
	タイプ2	H=1.8m	m	766.30	
ゲート	G1	B=10.0m	個所	6	
	G2	B=3.0m	個所	1	
	G3	B=7.2m	個所	1	
	G4	B=4.5m	個所	2	

工事名	淀川左岸線（2期）ト
路線名	淀川左岸線（2期）
場所	自：大阪市北区大淀 至：大阪市北区中津
図名	<参考図> 仮囲い設置工計画図
縮尺	S=1:600
単位	mm
年月日	令和元年6月

訂正箇所 (正)

図面番号478 <参考図>仮囲い設置工計画図 (右下)



- : 仮囲い
- : 地先道路
- : 作業用ヤード (工所用道路)

仮囲い・ガードフェンス数量表

種別	タイプ	高さ・幅	単位	数量	備考
仮囲い		H=3.0m	m	308.20	
ガードフェンス	タイプ1	H=2.1m	m	372.70	
	タイプ2	H=1.8m	m	800.50	

工事名	淀川左岸線 (2期) ト
路線名	淀川左岸線 (2期)
場所	自 : 大阪市北区大淀 至 : 大阪市北区中津
図名	<参考図> 仮囲い設置工計画図
縮尺	S=1:600
単位	mm
年月日	令和二年六月

訂正箇所	誤	正
<p>特記仕様書 P7 13. 詳細設計 <詳細設計業務> (D) 特殊部設計</p>	<p>既往成果を参考に既存の土質調査結果と本工事で新たに採取した土質調査結果をもとに、非常階段耐震設計【3箇所】、排水槽耐震設計【1箇所】を行い、図面、数量計算書を作成すること。</p> <p>既往成果の縦断方向の耐震解析の結果をもとに、継手部の構造設計【14箇所】を行い、図面、数量計算書を作成すること。</p> <p><u>既往成果の火災シミュレーションの結果をもとに、ランプ部の頂版に開口部を設け、常時、耐震設計、図面、数量計算を作成すること。</u></p>	<p>既往成果を参考に既存の土質調査結果と本工事で新たに採取した土質調査結果をもとに、非常階段耐震設計【3箇所】、排水槽耐震設計【1箇所】を行い、図面、数量計算書を作成すること。</p> <p>既往成果の縦断方向の耐震解析の結果をもとに、継手部の構造設計【14箇所】を行い、図面、数量計算書を作成すること。</p>